

♪～大豆多収の鍵はマメな雑草・病虫害防除管理です～♪

両沼豆づくり情報 令和4年度 第1号

(令和4年5月19日)

発行：会津農林事務所会津坂下農業普及所（電話0242-83-2113）

〃 金山普及所（電話0241-54-2801）

J A会津よつば 各営農経済センター



○播種準備と播種のポイント

- ・排水の悪いほ場では、明渠を施工して**排水対策**をしましょう
- ・クルーザーMAXXを使用した種子消毒により、**病虫害対策**をしましょう
- ・播種後は、土壌処理剤により、**雑草対策**をしましょう

1 多収高品質大豆生産のための基本技術

- (1) 堆肥の施用や緑肥すき込みによる地力の向上
- (2) 水田転換畑の弾丸暗渠実施や明渠の設置による排水対策
- (3) 適量の施肥および石灰による土壌pH調整
- (4) 碎土率（2cm以下の土塊の割合）70%の確保による出芽苗立向上
- (5) 除草剤適切使用による雑草防除
- (6) 種子塗沫剤による初期害虫（フタスジヒメハムシ）と立枯病の被害防止
- (7) 中耕培土の実施による生育の促進や排水・倒伏防止対策
- (8) 病虫害適期防除による子実食害害虫と紫斑病の抑制

2 当面の技術対策

- (1) 種子の準備
 - ア 購入した種子は、播種直前まで冷暗所に保管し、過乾燥を防止します。
 - イ 6月上旬までの標準的な播種量は、10a当たりで大粒が5.5～7.5kg、中粒4～5kg、小粒が1.4～2kgとなります。
 - ウ 種子塗沫：播種前にクルーザーMAXXを乾燥種子1kg当たり原液で8ml塗沫処理することで、ハト、フタスジヒメハムシ、タネバエ、アブラムシ、紫斑病、立枯病等の被害抑制効果があります。

表1 施肥（基肥+追肥体系）

区分	基肥(kg/10a)			追肥(kg/10a)				
	窒素	リン酸	カリ	窒素	体系1		体系2	
					肥料名	施用時期	肥料名	施用時期
標播	2	8	8	6	LP70	5～7葉期	硫安・	開花期
晩播	3	12	12	6	LP40		尿素	

(2) ほ場の準備

- ア 排水対策：暗渠排水が施工されているほ場では、暗渠管が効いているか確認を行い、目詰まり等があれば清掃を行います。また、暗渠の効果を高めるため、サ

ブソイラ等での弾丸暗渠の施工を行います。弾丸暗渠の行えないところでは、溝掘り機等での額縁明渠の設置を行います。

- イ 土づくり：地力の向上を図るために堆肥を施用します。ただし、未熟な堆肥の播種直前の施用は、大豆の発芽障害を引き起こすとともに、害虫や雑草の発生を助長しますので、完熟堆肥 1 t /10 a 前後を前もって計画的に施用します。また、土壌 pH の調整とカルシウムの補強のために石灰を 80~100kg/10 a 散布します。根粒菌の生育には、土壌 pH は 6~7 が適しています。
- ウ 施肥：10 a 当たりの標準施用量は、基肥では成分で、チッソ 2~3 kg、リン酸 8~12 kg、カリ 8~12 kg です（表 1）。追肥は最終培土前（標播では 7 月上旬~中旬）に LP コート 70（晩播では LP コート 40）をチッソ成分で 6 kg 施用します。施肥後はすぐに中耕培土することで肥効が高まります。もし、気象条件等の都合で培土時の追肥ができなかった場合は、開花期~開花後 10 日頃までにチッソ成分 6 kg を尿素か硫酸で追肥します。
- エ 耕耘整地：碎土の目標は碎土率（2 cm 以下の土塊の割合）70% 以上です。その良否が出芽率や除草剤の効果発現を大きく左右します。碎土後は、播種まで降雨があるとほ場が乾きにくくなるため、耕耘・整地作業はできるだけ播種当日に行います。

(3) 播種及び除草剤散布

- ア 播種：播種機使用前に、ロールやブラシ、覆土板などの点検や消耗品の準備を行います。播種時の覆土深は 3 cm 程度とし、5 cm 以上の深播き、または地表面の露出がないかなど播種直後に確認します。施肥同時播種では、肥料と種子の位置を 5 cm 以上離して側条施肥を行います。降雨時の播種作業では、出芽不良となるため、天候の回復を待って播種を行います。
- イ 栽植密度：6 月上旬までの播種（標播）では畦間 70cm、株間 15~20cm で行います。6 月中旬以降の播種（晩播）となる場合は、株間を狭めるなどして十分な苗立ちを確保します（表 2）。
- ウ 除草剤：土壌処理剤は播種後発芽前まで使用可能ですが、雑草の発生後では効果が劣るため播種後なるべく早く散布します。難防除雑草対策として、帰化アサガオ類の多いほ場では、フルミオ WDG やサターンバアロ乳剤、アレチウリの多いほ場ではフルミオ WDG やダイロンゾルの土壌処理が有効です。

表 2 大豆の栽植密度

播種期*	畝間 (cm)	株間 (cm)	栽植本数** (本/10a)	播種量 (kg/10a)		
				大粒	中粒	小粒
5月下旬 ~ 6月上旬	70	15~20	14,200 ~ 19,000	5.5~7.5	4.0~5.0	1.4~2.0
6月中旬 ~ 6月下旬	70	5~10	28,600 ~57,100	12**	8.0~16	2.8~5.6

* 積算温度の確保のため標高500m以上の地帯では5月下旬

** 2本/株

*** 大粒の晩播は株間10cm

☆ノーミス、ノー事故、農作業！ 水分・塩分補給で熱中症を防止しましょう
 ☆農薬は使用基準・使用方法に従い正しく使用しましょう
 ☆自然災害対応及び所得安定のために、農業共済・収入保険に加入しましょう